

品川区まちづくりマスタープランの改定の方向性について

1. 改定の方向性

■マスタープランの改定では、「社会情勢の変化」、「関連計画の策定・改定」、「アンケートの結果」、「まちづくりの現状と動向」、「まちづくりの成果と課題」を踏まえて**方向性**を定めます。



方向性
これまでの取り組みを継承しつつ、変化に対応した新たなまちづくりの視点を追加

2. 改定テーマ

■方向性から、新たなまちづくりの**視点**を整理し、**改定テーマ**を設定します。

まちづくりに関わる変化	① レジリエントな社会とまちの強靭性	② スマートシティとデジタルトランスフォーメーション(DX)	③ 新型コロナ危機を契機に変革する社会	④ 脱炭素社会とカーボンニュートラル	⑤ 多様性を支え活かすダイバシティ社会とイノベーションを創発する空間
まちづくりに求められること	○インフラの多重化 ○災害による被害の最小化 ○迅速な復旧・復興	○都市課題へのICT技術の活用 ○都市活動の再現・予測 ○公共データのオープンデータ化	○新たな生活・働き方への対応 ○身近な地域資源の多面的な活用	○建物・街区レベルでの省エネ化 ○みどりの保全・創出 ○交通分野の温暖化対策の推進	○創造的活動を支える空間づくり ○観光における滞在・交流空間づくり
新たなまちづくりの視点	多様なリスクの想定とまちの柔軟な対応力	新たな技術を活かしたひとによりそう空間・環境	身近なまちの魅力を再発見できる新しい暮らし方	地域で目指す脱炭素社会の実現	多様なひとが出会い活躍を広げる環境
改定テーマ	ひと中心のまちづくり ～都市生活の質の向上～				

3. 重点分野

■改定テーマの実現に向けて、

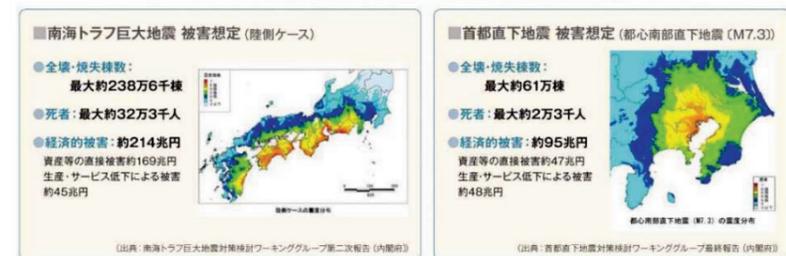
「社会情勢の変化」、「関連計画の策定・改定」、「アンケートの結果」から**重点的に取り組むべき分野**を設定します。

社会情勢の変化

大規模災害の多発



今後、発生が予想されている巨大地震



国による国土強靱化の推進や
災害に対する備えの重要性の高まり

関連計画の策定・改定

品川区長期基本計画の改定

安全 あんしん 持続

まちの安全を強固なものにし
住みよいまちに

誰もが安心して暮らせるよう、災害対策など人々の生活の基盤となるまちの安全を強固なものにするともに、環境面なども含め持続可能な住みよいまちをつくります。

安全 あんしん 持続 分野の主な取り組み

政策の柱16 区民を災害から守る対策の推進

- 災害対策を総合的に推進する
- 市街地の防災性を高める
- 地域の防災力を強化する
- 応急活動体制を強化する

区内一斉防災訓練

政策の柱19 区民と進める交通安全のまちの実現

- 交通事故のないまちをつくる
- 子ども・高齢者の交通安全確保を推進する
- 安全で安心な道路環境を確保する

交通安全運動

政策の柱17 地球環境にやさしいまちづくり

- 低炭素社会への取り組みを推進する
- 循環型社会への取り組みを推進する
- 環境意識の向上を図る
- 生活環境対策を推進する

(仮称)品川区立環境学習交流施設 外観イメージ

政策の柱20 地域特性を活かした計画的なまちづくり

- 魅力的で活力のある都市空間を形成する
- 身近で住みよい生活圏を形成する
- 安心して生活できる住みよいまちづくりを進める

開発が進む大崎駅周辺

政策の柱18 安全と安心を体感できる地域社会の実現

- 犯罪に強いまちをつくる
- 消費生活の安全・安心を確保する
- 国民保護措置*1を総合的に推進する

見守り人材育成消費生活教室

政策の柱21 快適な交通環境の整備

- 利便性の高い公共交通網を構築する
- 快適な道路環境を整備する
- 交通まちづくりを推進する

補助163号線の整備前後

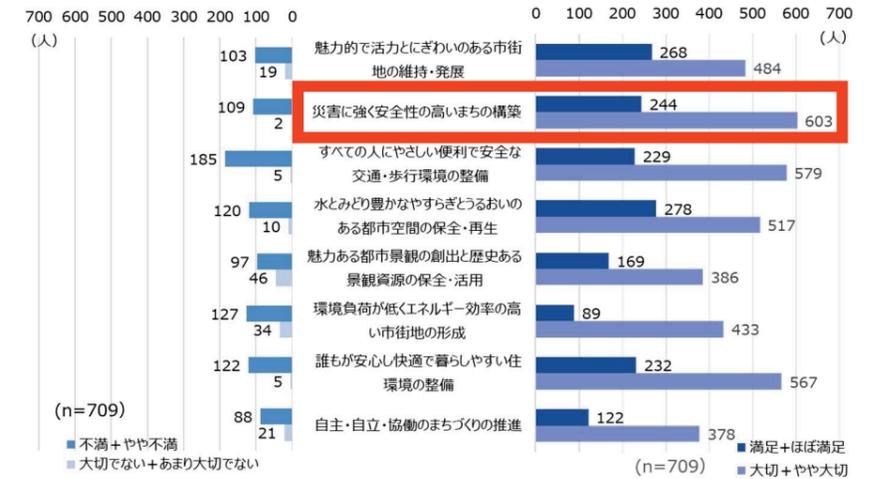
*1 地方防災推進等法及び関係法令等から国民の生命、身体および財産を保護し、国民生活等に与える影響を最小にするための、国、地方公共団体等の関係、調整、連携、協力及び災害への対応等[地方防災推進等法における保護のための措置に関する法制]に規定された事項。

「安全」が長期基本計画の政策分野の一つ

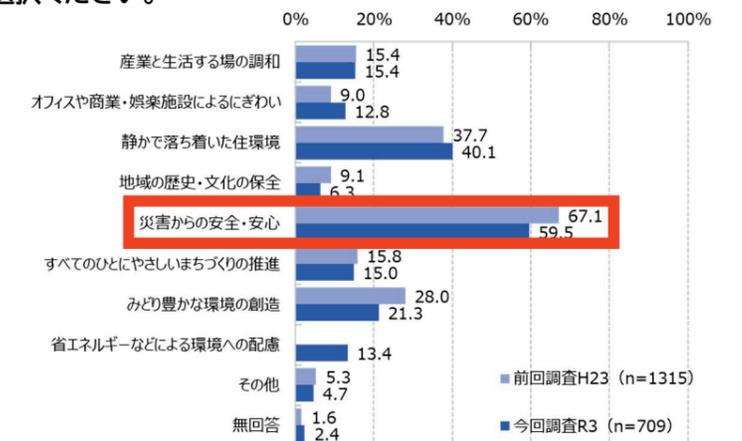
アンケートの結果

現在の満足度と今後の重要度、今後必要なこと

●「品川区まちづくりマスタープラン」での8つのまちづくりの目標について、現在の満足度と今後の重要度について1つお答えください。



●あなたがお住まいの地域に今後必要なことは何ですか。2つ選択ください。



「災害に強く安全性の高いまちの構築」、
「災害からの安全・安心」が最も重要、必要と回答

改定マスタープランでは「強靱なまち」を重点分野とします

4. 改定マスタープランの分野と目標

■方向性、改定テーマ、重点分野から、
改定マスタープランの**分野と目標**を整理します。

分野タイトルとまちづくりの目標 見直し案		新たなまちづくりの視点					改定テーマ			
		多様なリスクの想定 とまちの柔軟な 対応力	新たな技術を 活かしたひとに よりそう空間・環境	身近なまちの魅力 を再発見できる 新しい暮らし方	地域で目指す 脱炭素社会の実現	多様なひとが 出会い活躍を 広げる環境	ひと中心のまちづくり ～都市生活の質の向上～			
現行マスタープランの分野・目標							改定マスタープランの分野・目標(案)			
土地利用と 開発誘導	魅力的で活力とにぎわいのある市街地の維持・発展	+	○都市拠点の安全確保	○リアルタイムのひとの流れ・ニーズの変化に対応した移動環境・都市機能・空間の創造・柔軟な活用		○脱炭素を指向する建築・開発(ZEB)の誘導	○創造的活動を育てる多様なオープンスペースの誘導	+	土地利用と 開発誘導	活力ある拠点と歴史ある地域が魅力を高め合うまち
防災 まちづくり	災害に強く安全性の高いまちの構築	+	○水災害へのリスク対応(広域避難・垂直避難等を想定した空間創出)	○情報活用と共助の力によるリスクの見え化と迅速な避難誘導	○災害と感染症拡大の複合的なリスクを想定した避難のしくみづくり		○多様な人材の力を生かした共助のしくみづくり	+	重点 強靱なまち	様々なリスクにしなやかに対応できるまち
都市基盤	すべての人にやさしい便利で安全な交通・歩行環境の整備	+	○避難・物資輸送のルート多重化	○情報を介したシームレスな移動サービスと公共交通のネットワーク	○自動車利用の変化を踏まえた「ひと中心のまち」「歩きたくなるまち」のための道路空間の再編	○効率的なエネルギー基盤の導入誘導 ○走行時に温室効果ガスを出さない自動車等の利用環境づくり	○ひとの移動・活動を活発にする多様な乗物・移動サービス ○道路を交流の場に変えるなど柔軟な活用	+	都市基盤	ひとの移動や活動をやさしく支え、歩きたくなるまち
水とみどり	水とみどり豊かなやさしうらぎとおいのある都市空間の保全・再生	+	○目黒川を活かした避難・物資輸送ルートの確保	○快適な都市空間情報と効果的な空間活用	○水辺や緑地等の屋外空間の快適性を活かした柔軟で多様な空間活用	○ここちよい風の流れるネットワーク ○温室効果ガスを吸収する多様なみどりの創出	○公共空間を活用した居心地の良い居場所づくり	+	水とみどり	水とみどりから居心地のよい空間がつながり、広がるまち
都市景観	魅力ある都市景観の創出と歴史ある景観資源の保全・活用	+		○世界・仮想空間での多様な人々・活動とつながるまちの魅力創造	○身近なまちの歴史性・環境等を活かした過ごし方、ヒト・モノ・コトの魅力創造		○仕事ついででの滞在が新しい体験・交流に広がり、多様なひとを惹きつける空間づくり(都市型ワーケーション等)	+	都市景観	地域固有の界隈性を楽しみ魅力・活力を継承創造するまち
環境 まちづくり	環境負荷が低くエネルギー効率の高い市街地の形成	+	○自律分散型エネルギーシステムの導入	○創エネと省エネ・エネルギー利用の見え化・最適化		○街区・エリア単位での脱炭素・エネルギー利用等のマネジメント		+	環境・ エネルギー	エネルギーを効率よく使い、快適に暮らせるまち
住まいと 住生活	誰もが安心して快適で暮らしやすい住環境の整備	+		○ライフステージの変化に合わせて住み続けられる住宅のマッチング	○身近なまちでの過ごし方や働き方の多様化に対応した住宅の誘導	○家庭内の電気を最適化する仕組み(HEMS)の導入	○しごと、交流、創造的活動、滞在の境目のない多機能な空間創造	+	都市生活と 住まい	多様なスタイルで豊かに生活し、住み続けられるまち
計画の実現 に向けて	自主・自立・協働のまちづくりの推進	+		○データを駆使したまち・ひと・都市活動のモニタリングと課題解決	○多様な機能をもつ都市空間・都市基盤を多面的に活かす		○様々なチャンネルのコミュニケーションで多様な力を活かす	+	まちづくり の マネジメント	多様なひとの力と地域の潜在力を活かせるまち